

带状疱疹ワクチン予防接種費用補助のお知らせ

日進市では、带状疱疹の発症や合併症を予防するワクチン接種費用にかかる経済的負担の軽減を図るため、費用の一部を補助します。

★带状疱疹とは？★

水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の疾患で、身体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれが多数集まって带状疱疹に生じます。

日本では80歳までに約3人に1人がかかり、また皮膚症状が治った後も50歳以上の約2割の人が長い間痛みが残る带状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性がある疾患です。



1 補助の対象者

接種日時点で日進市の住民基本台帳に記載されている満50歳以上の人

2 補助金額・補助回数 補助の対象となるワクチンはア、イどちらか1種類のみです。

ワクチンの種類	ア: 不活化ワクチン 「シングリックス」	イ: 生ワクチン 「ビケン」
補助金額	1回につき10,000円	4,000円
補助回数	2回まで	1回


※生活保護世帯の人は接種費用の全額を補助します。別途手続きが必要となりますので、事前に健康課へお問い合わせください。

3 補助対象となる接種

立松整形外科・内科クリニックでの費用補助はシングリックスのみ

令和6年1月1日以降の接種分

4 補助の流れ

接種医療機関	方法
市指定医療機関	<p>① 接種前に、かかりつけ医等と相談の上、接種するワクチンの種類を決めて、電子申請・はかき・窓口等にて健康課(保健センター)に補助券の申し込みをします。</p>  ←電子申請申込みフォーム <p>② 「带状疱疹ワクチン接種費補助券」を郵送等にて受け取ります。</p> <p>③ 市指定医療機関(※)に補助券を提出し、予防接種を受け、接種費用から補助額を差し引いた額を医療機関にお支払いください。</p> <p>例) 接種費用1回22,000円の不活化ワクチン(シングリックス)を接種した場合 22,000円-10,000円補助=12,000円(1回分)が自己負担額となります。</p> <p>(※) 市指定医療機関は、市ホームページを参照、または健康課へお問い合わせください。</p>
市外の医療機関等	<p>① 医療機関で带状疱疹ワクチン接種後、実費を支払い、領収書を受け取ります。領収書には、<u>被接種者氏名、接種年月日、ワクチン名(シングリックスまたはビケン)、金額、医療機関名</u>の記載が必要です。</p> <p>② 申請書に必要事項を記入し、領収書(原本)・振込先口座がわかるものを添えて健康課(保健センター)に提出します。申請書は、健康課(保健センター)にあります。ホームページからもダウンロードできます。</p> <p>③ 書類審査後、健康課(保健センター)から補助金額を指定の金融機関の口座に振り込みます。</p>

5 注意事項



- ① 接種前に带状疱疹ワクチンの注意事項をよく理解してから受けましょう。
- ② 带状疱疹ワクチンは、任意接種です。接種する医療機関やワクチンの種類によって接種費用は異なります。

【お問い合わせ先】

日進市健康課(保健センター内)

〒470-0131 日進市岩崎町兼場101-1 電話(0561)72-0770 FAX(0561)72-0244